

2022年7月25日

消化器外科に、過去に通院・入院された患者さんへ

(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体及び通常の診療で得られる検査結果などの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号)の規定により、研究内容の情報を公開し、研究対象となる方等が拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせ、拒否される場合などがありましたら、以下の連絡先・相談窓口へご照会ください。研究への検体及び診療情報の利用を拒否された場合も不利益を受けることはありません。また、この研究については、香川大学医学部倫理委員会の審議にもとづく医学部長の許可を得ています。

[研究課題名] メタボローム解析による膵癌術前化学放射線療法における治療抵抗性の病態解明

[研究機関の長] 香川大学医学部長

[研究責任者名・所属]

香川大学医学部附属病院 消化器外科 教授 岡野圭一

[研究の目的]

当院では膵臓癌で手術を受ける患者様に対して術前に化学放射線療法を行っています。治療を受けた方の中には治療が良く効く患者さんと効果が少ない患者さんがいます。この治療効果の違いの原因を解明するために、手術の時に採取した組織を使った研究を行っています。研究を進めている中で、この治療効果の違いの原因として膵癌に特異的なタンパク質が関与していると考えられています。さらに今後は、このタンパク質を他の癌で認めるかどうかを確認していきます。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

膵臓癌または大腸癌の患者さんで、2003年1月1日から2020年8月31日の間に、消化器外科で手術を受けられた方

○利用する検体・診療情報

検体：手術で採取された組織

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、血液検査、画像検査、手術後の経過

[外部への検体・診療情報の提供]

利用する本学所持の検体・診療情報等は、患者さん個人が特定できない状態とし、郵送で委託先(慶應義塾大学先端生命科学研究所およびタカラバイオ株式会社、量子科学技術研究開発QST病院、大阪大学医学系研究科 医学専攻 ゲノム生物学講座・がんゲノム情報学)へ提供します。

[研究組織]

香川大学消化器外科 岡野圭一

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの個人情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[連絡先・相談窓口]

香川県木田郡三木町池戸 1750-1

香川大学医学部附属病院消化器外科

電話 087-891-2438 (直通)

担当医師 下村彩香

FAX 087-891-2439